

進展する世界農業遺産「大崎耕土」の取り組み-映像集の紹介

大崎市世界農業遺産推進課 三宅源行

1. 大崎地域について

大崎地域は宮城県北部に位置する1市4町（大崎市・色麻町・加美町・涌谷町・美里町）のことを指します。

西部の山間地帯は奥羽山脈が連なり、自然豊かで観光業が盛んです。

紅葉で有名な『鳴子峡』、ラムサール条約登録湿地に指定された『蕪栗沼（かぶくりぬま）』『化女沼（けじょぬま）』は全国的にも有名です。

また、山岳地帯から広がる広大な山地では畜産や野菜の栽培、中央部・東部の平坦地では宮城の代表米でもある「ササニシキ」や「ひとめぼれ」などの生産が行われています。

素晴らしい自然と農業の発展が大崎地域を豊かなものとしてきました。

2. 世界農業遺産「大崎耕土」の映像集について

大崎地域の厳しい自然環境を先人の知恵と努力によって、共存してきた大崎耕土は、2017年にその価値が認められ、世界農業遺産に認定されました。

継承されてきた、「巧みな水管理」「豊かな農作物」「伝統的な農文化」「生き物との共生」「特徴的な景観」、また、これら全体の“つながり”こそがこの大崎地域の魅力です。

そんな人と大自然が紡いできた価値を余すことなく、伝えるため、映像集を作成しました。

大崎耕土の全体像を解説した映像や、屋敷林「居久根」を360度VRで体感して頂ける映像のほか、シナイモツゴが再発見された大崎市鹿島台の「桂沢ため池」を紹介した映像もございます。

この機会にぜひ、ご覧ください。

大崎耕土映像集

<https://osakikoudo.jp/movie/>



PR映像



イメージ映像/
解説映像

